さくら咲け

進路だより 第3号 令和7年6月23日 新座市立第三中学校 進路指導部

あなたの高校選びのポイントは?

前回の進路だよりでもお知らせしていたように、今回は「高校選びのポイント」についてで す。前回の最後でも聞きましたが、埼玉県にはいくつの高校があるかわかりますか?

埼玉県内だけでも国立高校が1校 県公立高校が142校 私立高校58校もあるのです。そこに、 新座市の中学生がよく通う東京都内の私立高校を含めると200校以上の中から自分の受験する高校 を選んでいくことになります。

先日、各クラスに2冊の受験案内の冊子を配布しました。読んだ人はいるでしょうか? 参考になる様々な情報が載っているので、この後に紹介する「高校選びのポイント」とあわせて、第 I 回進路希望調査で、しっかりと高校を選べるようにしましょう。

高校選びのいくつかのポイント

①校風や教育方針を知る

③自分に合った学科やコースをさがす

⑤進学実績を調べる

⑦学費について話し合う

※志望校は複数考える

②学校の雰囲気を知る

4)通学時間・交通手段を調べる

⑥大学の指定校推薦枠について知る

⑧学力・偏差値に合ったところを調べる

など

この8つのポイントの中からいくつかについて解説します。

まずは④の通学時間・交通手段です。しっかり考えられていますか? 3年間暑い日も寒い日 も、雨の日や雪の日も通うことになる学校です。そんな中で④を考えると、先の200校以上の選択 肢がかなりしぼられます。例えば、自宅から1時間以内となれば、どこまでが通学範囲になります か? 片道2時間かかってもいいとなれば、選択肢はさらに広がることになりますね。

交通手段についても、どのようなものを考えていますか? 徒歩や自転車で通える距離なのか、電車やバスを使ってもよいのか、自分がどこまで許容できるのかイメージしておくことが大切です。

次に、①②の校風や教育方針、学校の雰囲気です。

パソコンで調べることができるものもありますが、実際にその学校に行ってみることが大切です。学校説明会や個別相談に参加することです。文化祭や学校体験などに行くと、その学校の雰囲気はすぐわかるものです。目で見て、感じた情報はとても貴重です。また、その学校に通う先輩たちを見ると学校の雰囲気もつかめますよ。

私立高校は、設置した人、創立者が個人であるため、教育方針には特徴的なものがあります。 しかし、公立高校には大きな差がないのではと考えている人は、各高校のHPなどで「目指す生 徒像」という項目を参考にしてみてください。そこには、その学校で求めている生徒の姿が書か れています。つまり、3年間の教育で「こんな生徒を育てます」という高校側の宣言でもあるわ けです。

次の56の進路実績、指定校推薦枠を知っておきましょう。

受験はとかく入口ばかりを見がちです。しかし3年経つと、また自分の進路を考えなければなりません。その時にこの⑤⑥を知っておくことは大きな意味を持つと思います。3年過ごした先輩たちは、その後どんな進路先に進学・就職していくのか?それと自分の目標を照らし合わせて考えてみるのです。

指定校推薦とは、大学が指定した高校に推薦枠を与え、その高校が推薦基準に合わせて選考を 行い、大学が面接などで合否を判定する制度です。高校によってはこの指定校推薦枠を数多くも っているので、高校選びの一つの参考になります。

最後に⑦学費です。

私立は公立に比べて、お金がかかるというのが一般的な話です。しかし、今は公立、私立高校 共に「授業料の無償化」が進み、国や県などが高校でかかる費用に対して、支援金や補助金を支 給してくれるようになったため、公立高校と私立高校の学費の差が大きく縮まってきています。 学費の補助制度について調べることで、高校選びの選択肢が広がる可能性があるので、少し早め に話し合っておくといいですね。

③、⑧についてはこれから自分が何に興味を持つのか、今後の校長会テストや北辰テストの結果を受けて決まっていく形になります。自分の頑張りによって、大きく選択肢を広げることができますので、上のポイントによって選んだ高校に行けるためにも日々頑張っていきましょう。

しかし、学力の高さだけでは高校の価値は決まらないと思います。複数の選択肢を比較・検討して、自分が「3年間通い続けられる高校選び」をしてください。まずは、これからの夏休みの時間などをうまくつかい、実際に高校へ足を運んでみましょう。すでに、学校説明会も始まっている高校もあるので、情報収集をしっかり行ってください。

次回は、いよいよ第 I 回進路希望調査についてのお話になります。実際の記入例などを用いて説明していきます。みなさんは、志望している高校の正式名称を書けますか?